

教職実践高度化専攻 カリキュラム・ポリシー

【教育内容】

本専攻では、「高知県教員育成指標」に対応した教育課程の下、実務家教員と研究者教員による多角的な指導及び共通科目・専門科目と実習とを繋ぐ「総合実践力科目群」の配置により、理論と実践の融合を図って教育実践を科学的に捉え、学校教育における組織的取組や授業力向上、特別支援教育の取組をリードし、多様な教育課題を解決へと導いていくことのできる資質・能力を身に付けさせることとしている。そうした資質・能力を育成するために、以下に共通科目、専門科目、総合実践力科目、実習科目の役割を定義した上でカリキュラム・ポリシーを設定する。

- ①共通科目とは、学校マネジメント・授業実践・特別支援教育の各コースの専門性の基礎となり、かつ、教職修士（専門職）の学位を有する者として共通的に必要となる知識・能力を身に付けるための科目群である。専門職大学院に関し必要な事項を定める件（平成15年文部科学省告示第53号）に準拠し、「教育課程の編成・実施に関する領域」「教科等の実践的な指導方法に関する領域」「生徒指導及び教育相談に関する領域」「学級経営及び学校経営に関する領域」「学校教育と教員の在り方に関する領域」の5領域10科目（各科目2単位）で構成する。
- ②専門科目とは、各コースの専門分野に関する知識・能力を身に付けるための科目群であり、学校マネジメントコース、授業実践コース、特別支援教育コースの3コースの特色に応じ、学修の深化や関心の広がりを図る科目（各科目2単位）で構成する。
このうち、授業実践コースの専門科目には、学校現場の実情に即した実践的な教科領域の導入を進めることとし、国語、算数・数学、理科、社会、英語の5教科の科目を配置する。
- ③実習科目とは、教育現場である連携協力校及び附属学校園において、研究課題の探求からその解決までのプロセスを経る中で、高度専門職業人としての教員に求められる能力を育成する科目群である。学校マネジメントや授業改善、特別支援教育をはじめ学校の教育活動全体について総合的に体験・考察し、学校の諸課題の解決に主体的に取り組むことができるよう「実習Ⅰ」（1年次 4単位）、「実習Ⅱ」（2年次 6単位）と段階的に配置する。
- ④総合実践力科目とは、共通科目・専門科目で修得した理論的な学びと、実習科目における実践的な学びを融合させるための省察活動を行う科目群であり、各コース別・キャリア別に「教育実践研究Ⅰ」（1年次 2単位）、「教育実践研究Ⅱ」（2年次 4単位）と段階的に配置するとともに、共通科目・専門科目・実習科目と「教育実践研究Ⅰ・Ⅱ」における学びを総合的に捉え、理論面・実践面の両面から分析・検証し研究をまとめることを通じて学修を総括する「総合実践研究」（2年次第2学期 2単位）を配置する。
- ⑤ディプロマ・ポリシー達成のため、以下の方針（カリキュラム・ポリシー）に基づい

てカリキュラムを編成、実施する。ディプロマ・ポリシーの達成度に基づいて、カリキュラムの評価を行う。

【カリキュラム・ポリシー】

■学校マネジメントコース（学部卒院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習科目を中心とした実践の中で、実習先の学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができるようにする。

■学校マネジメントコース（現職教員院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、学部卒院生に対してアドバイスも行いながら、学校や学級の教育マネジメントに関する高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、学部卒院生に対してアドバイスも行いながら、学校や学級をめぐる現代的諸課題について、幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、リーダーとして学校の教育活動を計画的・組織的にマネジメントすることができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習科目を中心とした実践の中で、実習先教職員と連携しながら、高度な専門的知識と教育実践力を持った専門的職業人として、学校内外の教育資源を統合・調整し、学校組織が効率的・効果的に動くよう組織の改革を推進していくことができるようにする。

■授業実践コース（学部卒院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習科目を中心とした実践の中で、教育実践に関する多様な社会的ニーズ

と研究課題を明確に意識し、学校組織の一員として自己の役割を果たすことができるようにする。

■授業実践コース（現職教員院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、学部卒院生に対してアドバイスも行いながら、授業実践に関する高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、学部卒院生に対してアドバイスも行いながら、児童生徒理解や学習指導について幅広く専門的知見に結び付けて考えることができ、学習目標の達成に向けて開発的な授業実践を行うことができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習科目を中心とした実践の中で、実習先教職員と連携しながら、教育実践に関する多様な社会的ニーズと研究課題を明確に意識し、学校の教育課題を解決するために、学習指導に関する方策を企画立案し、実行することができるようにする。

■特別支援教育コース（学部卒院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、指導方法を工夫しつつ学習目標の達成に向けた授業実践を行うことができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習科目を中心とした実践の中で、学校組織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、児童生徒一人一人の特性や障害の状況に応じた対応をしていくことができるようにする。

■特別支援教育コース（現職教員院生）

（知識・理解・技能）

共通科目・専門科目を中心とした講義・演習の中で、学部卒院生にアドバイスも行いながら、特別支援教育に関する最新の知見に基づく高度な専門的知識と教育実践力を修得できるようにする。

（思考・判断・表現）

総合実践力科目を中心とした省察活動の中で、学部卒院生にアドバイスも行いながら、障害種別ごとの実態評価法や指導・支援法に関する高度な専門性を持ち、組織的・計画的に特別支援教育体制を改善し続けることができるようにする。

（関心・意欲・態度）

実習活動を中心とした実践の中で、実習先教職員と連携しながら、学校組

織の一員として自己の役割を果たし、特別支援教育の実践を改善し、組織的な推進体制を構築・継続していくことができるようにする。

【教育方法】

高度な専門的知識を修得するとともに、実践的判断力や指導力を養成するために、授業は、アクティブラーニングなどを取り入れ、実務家教員と研究者教員によるチーム・ティーチングや少人数のゼミ形式で行うなど学習者の主体性を重視した授業を行う。

複数指導教員制のもと、カリキュラム全体をマネジメントし、院生の研究課題を中心に理論的な学びと実践的な学びを統合するとともに省察して実践研究を深化させる指導を行う。

【教育評価】

(学修評価)

学修の評価にあたっては、本学が定める成績評価基準に基づいて評価を行う。各科目の学修成果は、授業科目の到達目標の達成度をシラバスに記載されている評価方法によって、筆記試験、レポート、発表、授業への参加度、演習・実験成果等で評価を行う。

総合実践力科目の評価について、評価資料や研究成果報告書を基に、達成目標に則して評価を行う。

(カリキュラム評価)

院生の学修成果や専門領域の研究動向、学外からの評価、意見を参照しつつ、6年ごとにカリキュラム評価を実施し、改善を行う。